

現場記入用 様式

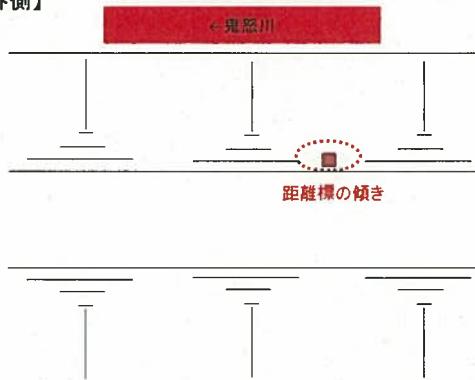
水系名	利根川	河川名	鬼怒川川	点検者名	小林、荻島	点検年月日	平成26年 9月19日(金)
岸別	(左)・右岸	地先名	塩谷市(郡)	塩谷町	一村	上平	地先
場所	99.25 km			[構造物(上平橋)から上]	・(下)流	100 m	

■ 点検箇所 : 堤内地・裏小段・裏のり面・堤防天端・表のり面・表小段・堤外地・堤脚水路

■ 状況図面

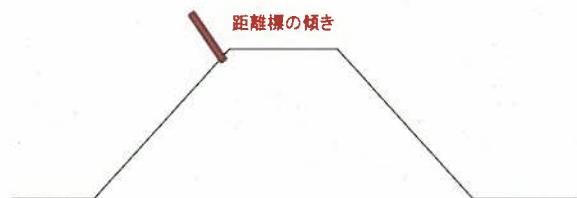
平面方向

【堤外側】



横断方向

【堤外側】



【堤内側】

【堤内側】

台風期点検の標準的な堤防の点検事項

項目	箇所	点検事項	台風期
土堤	法面・堤防護岸・小段	・法面・小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・雨水排水上の問題となっているような、小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
		・法面・小段に不陸はないか。	
		・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
		・樹木の侵入、拡大は生じていないか。	
		・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
		・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
		・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
		・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
		・浸透対策として表法面に被覆工が施されている箇所において、透水シートの露出や破断がないか。	
	天端	・堤防天端及び法面に亀裂、陥没、不陸、浸食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	✓
	裏法尻部	・天端肩部が侵食されているようなどろはないか(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
		・しぶり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
		・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
		・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
	堤脚水路	・局部的に湿性を好む植生種が滋生していないか。	
		・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
		・堤脚水路の縫目からの漏水・噴砂がないか。	
縫門等構造物周	構造物上部の天端及び法面	・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
		・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
		・構造物上部の天端及び堤体法尻部、小段部や堤脚水路の構造物上に陥没はないか。	
	構造物同士の接合部	・構造物各部の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
		・構造物各部の接合部から吸出しの痕跡が生じていないか。	
	函体	・函体の撓み、折れ曲がりや、縫手の開き、函体クラックの状態に変化はないか。拡大していないか。	

変状に関するコメント

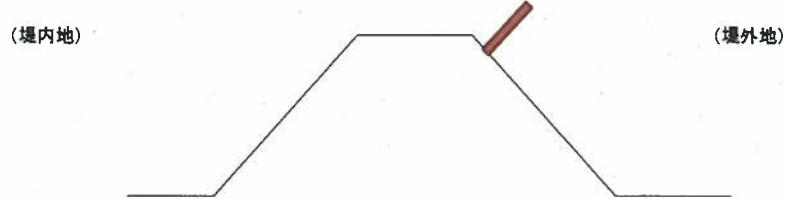
距離標が傾いている

整理番号	氏-1
------	-----

様式-2

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	氏家出張所			
場 所	キロ	99.25	左右岸	(左) 岸	地先名	一 市 塩谷 町 上平 地先	
点検箇所	堤防法面(川表)						

■変状状況図面



■変状状況写真

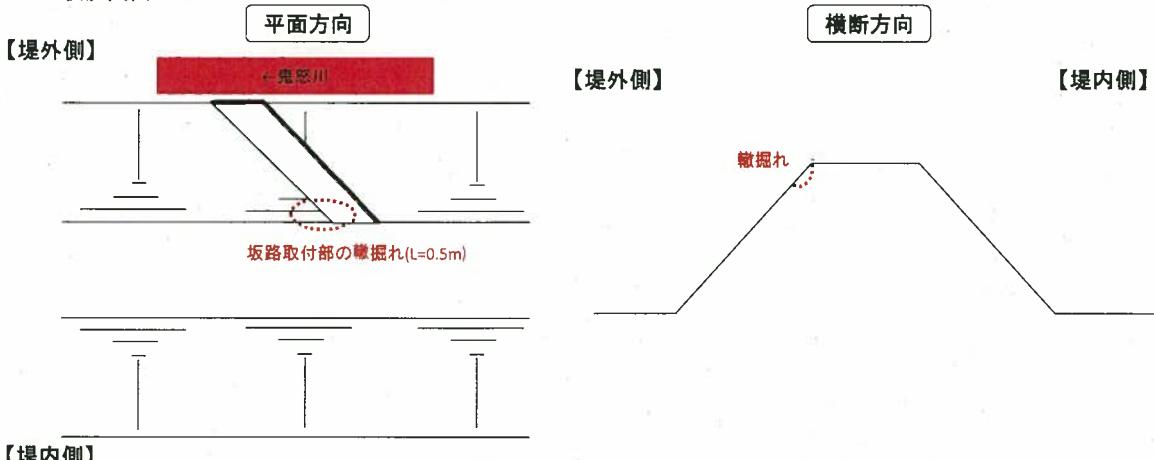


現場記入用 様式

水系名	利根川	河川名	鬼怒川川	点検者名	小林、荻島	点検年月日	平成26年9月19日(金)
岸別	(左)・右岸	地先名	塩谷市(郡)	塩谷町	一村	大久保	地先
場所	98.1 km	[構造物(大久保排水樋管)から(上)・下流100m]					

■ 点検箇所 : 堤内地・裏小段・裏のり面・堤防天端・表のり面・表小段・堤外地・堤脚水路

■ 状況図面



【堤内側】

台風期点検の標準的な堤防の点検事項

項目	箇所	点検事項	台風期
土堤	法面・堤防護岸・小段	・法面・小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・雨水排水上の問題となっているよう、小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
		・法面・小段に不陸はないか。	
		・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
		・樹木の侵入、拡大は生じていないか。	
		・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
	天端	・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
		・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
		・水削工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
	裏法尻部	・堤防対策として表法面に被覆工が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断がないか。	
		・堤防天端及び法面に亀裂、陥没、不陸、浸食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
		・天端肩部が浸食されているようなどろはないか(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・堤脚付近の排水不良に伴う漫潤状態はないか。	
		・しぶり水でいつも漫潤状態の所はないか。	
	堤脚水路	・法尻付近の漏水・噴砂はないか。	
		・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
		・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
		・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
涵門等構造物周辺	構造物上部の天端及び法面	・堤脚水路の縁目からの漏水・噴砂がないか。	
		・堤脚水路の閉塞がないか。	
		・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
	構造物同士の接合部	・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
		・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路の構造物上に陥没はないか。	
	函体	・構造物各部の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
	函体	・構造物各部の接合部から吸出しの痕跡が生じていないか。	
	函体	・函体の撓み、折れ曲がりや、維手の開き、函体クラックの状態に変化はないか。拡大していないか。	

変状に関するコメント

法面坂路の轟掘れが進んでいる。

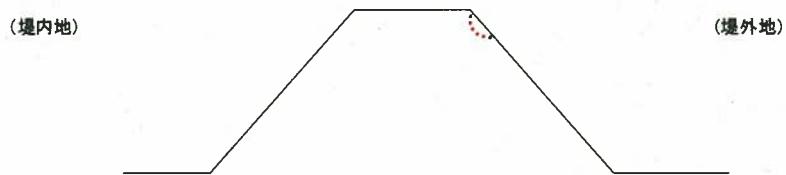
整理番号 氏-2

樣式-2

■ 変状状況図面



【平面図】



【断面図】

■変状状況写真



現場記入用 様式

水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	小林、荻島	点検年月日	平成26年 9月30日(火)
岸別	(左)・右岸	地先名	さくら市・郡	一町	一村	向河原	地先
場所	92.25 km			[構造物(氏家大橋)から上・下流 250 m]			

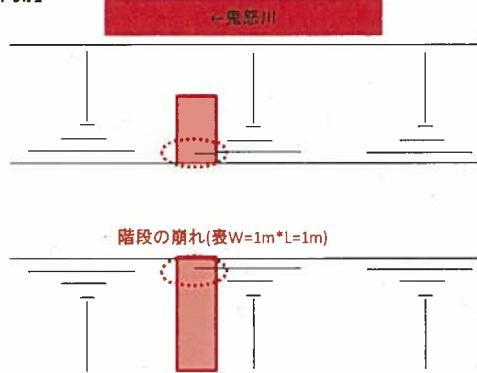
■ 点検箇所 : 堤内地・裏小段・裏のり面・堤防天端・表のり面・表小段・堤外地・堤脚水路

■ 状況図面

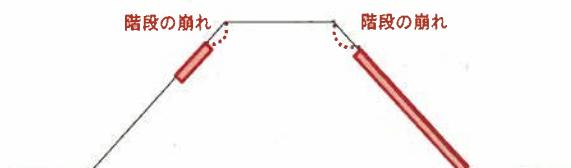
平面方向

横断方向

【堤外側】



【堤外側】



【堤内側】

【堤内側】

台風期点検の標準的な堤防の点検事項

項目	箇所	点検事項	台風期
土堤	法面・堤防護岸・小段	・法面・小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないいか。)	
		・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないいか。)	
		・雨水排水上の問題となっているような、小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
		・法面・小段に不陸はないか。	
		・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
		・樹木の侵入、拡大は生じていないか。	
		・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	✓
		・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
		・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないいか。)	
	天端	・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないいか。)	
		・浸透対策として表法面に被覆工が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断がないか。	
	裏法尻部	・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、浸食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないいか。)	
		・天端肩部が浸食されているようなどろはないか(あるいは出水期前よりも進行していないいか。)	
		・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
		・しぶり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
		・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
		・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないいか。)	
	堤脚水路	・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
		・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
		・堤脚水路の縁目からの漏水、噴砂がないか。	
		・堤脚水路の閉塞がないか。	
辺門等構造物周	構造物上部の天端及び法面	・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
		・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水、噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
		・構造物上部の天端及び堤体法尻部、小段部や堤脚水路の構造物上に陥没はないか。	
	構造物同士の接合部	・構造物各部の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
	函体	・構造物各部の接合部から吸出しの痕跡が生じていないか。	

変状に関するコメント

堤防階段の天端付近が、川裏・川表共に崩れており、利用困難な状況になっている。

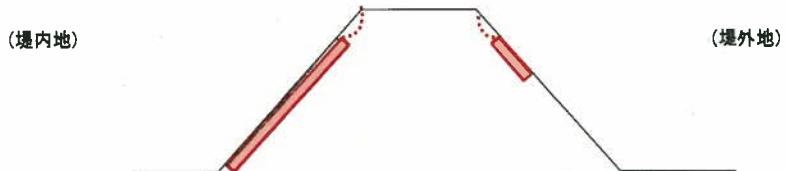
整理番号 氏-3

樣式-2

■変状状況図面



【平面図】



【断面図】

■変状状況写真



現場記入用 様式

水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	金子、柳沢、高野	点検年月日	平成26年 9月 4日(木)
岸別	左・右岸	地先名	筑西市・郡			町村	下川島地先
場所	37.1 km	[構造物()]	橋)から	上・下流	m

■ 点検箇所 : 堤内地(裏のり面)・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

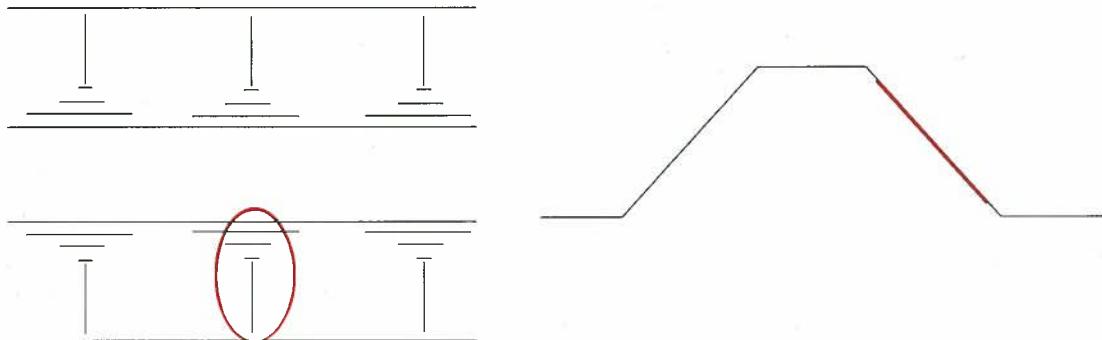
平面方向

横断方向

【堤外側】

【堤外側】

【堤内側】



【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土壌)の点検事項

点 検 事 項

出水期前

- ・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。
- ・表法面・表小段に不陸はないか。
- ・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。
- ・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。
- ・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。
- ・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、透水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・天端肩部が侵食されているところはないか。
- ・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。
- ・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。
- ・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。
- ・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。
- ・しぶり水でいつも浸潤状態の所はないか。
- ・法尻付近の漏水、噴砂はないか。
- ・樹木の貢入、拡大は生じていないか。
- ・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)
- ・局部的に湿性を好む植物が群生していないか。
- ・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。
- ・堤脚水路の縦目からの漏水、噴砂がないか。
- ・堤脚水路の閉塞がないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。
- ・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。
- ・函体の撓み、折れ曲がりや、縫手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。
- ・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。

変状に関するコメント

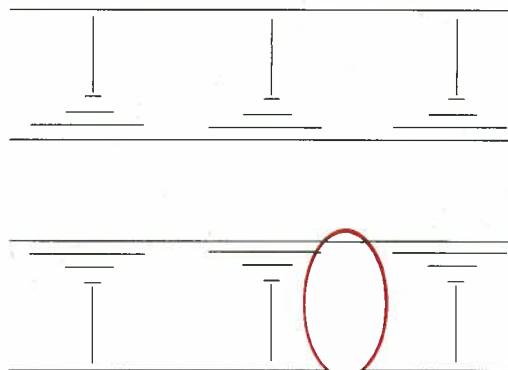
法面を通行した跡がある

整理番号	①-1
------	-----

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	関東地方整備局				
場所	キロ	37.1km	左右岸	右 岸	地先名	結城 郡	八千代 町	高崎 地先
点検箇所				裏法面				

■変状状況図面

幅 1mの法面全体



【 平面図 】

(堤内地)

(堤外地)



【 断面図 】

■変状状況写真



法面を通行した跡がある

現場記入用 様式

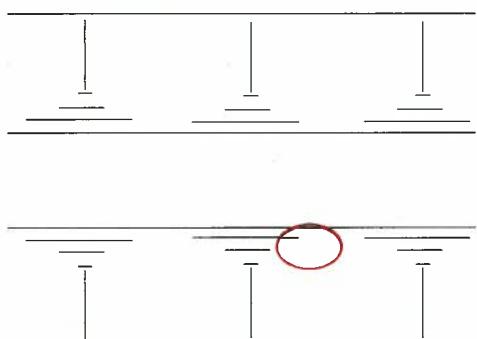
水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	金子、柳沢、高野	点検年月日	平成26年9月4日(木)
岸別	左・右岸	地先名		市・郡	八千代町	村	高崎地先
場所	37.5 km	[構造物()	橋)から	上・下流	m]

■ 点検箇所 : 堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

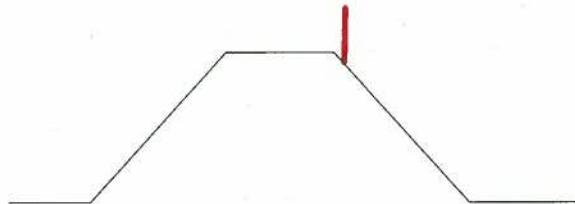
平面方向

【堤外側】



横断方向

【堤外側】



【堤内側】

【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土壌)の点検事項

点検事項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	✓
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、透水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、浸食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぶり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が生育していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の縫目からの漏水、噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、縦手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

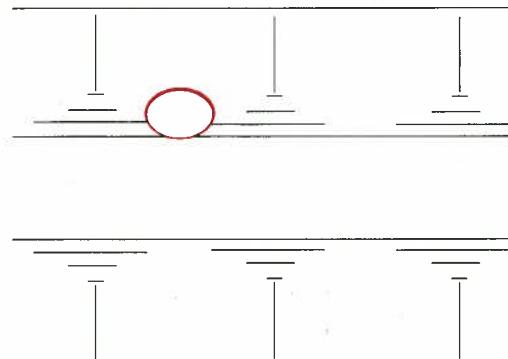
看板の文字が消えている

整理番号	①-2
------	-----

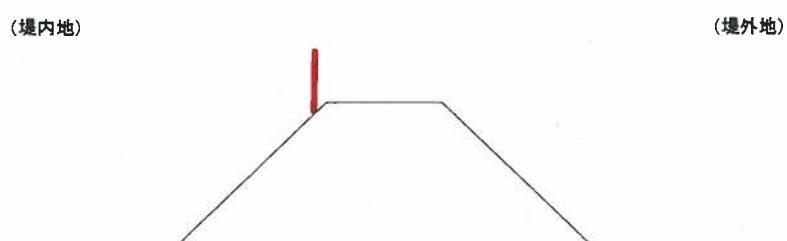
様式-2

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	関東地方整備局
場 所	キロ	37.5km	左右岸	右 岸 地先名 結城 郡 八千代 町 高崎 地先
点検箇所	堤防天端(川の一里塚)			

■変状状況図面



【 平 面 図 】



【 断 面 図 】

■変状状況写真



看板の文字が消えかかっている

現場記入用 様式

水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	金子、柳沢、高野	点検年月日	平成26年 9月 4日(木)
岸別	(左)・右岸	地先名	下妻市・郡		町	村	長塚 地先
場所	31.8 km	[構造物(橋))から	上・下流	m	

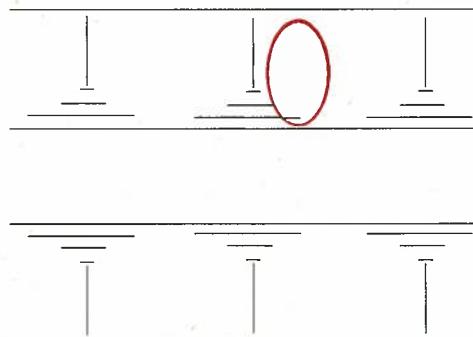
■ 点検箇所 : 堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

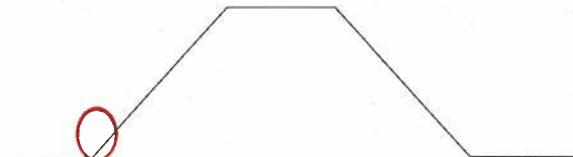
横断方向

【堤外側】



【堤外側】

【堤内側】



【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土壌)の点検事項

点 検 事 項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているよう、表小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・透水対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水削工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・表法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているよう、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	✓
・堤脚付近の排水不良に伴う漫潤状態はないか。	
・しぶり水でいつも漫潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貢入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の維目からの漏水、噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、維手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

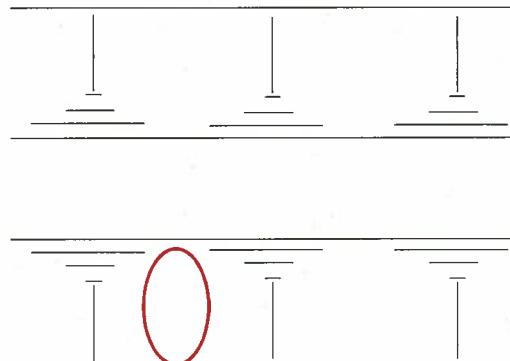
変状に関するコメント

船戸排水樋管の川表階段に段差あり

整理番号	①-3
------	-----

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	関東地方整備局			
場 所	キロ	31.8km(船戸樋管)	左右岸	左 岸	地先名	下妻 市	町 長塚 地先
点検箇所	樋管階段部						

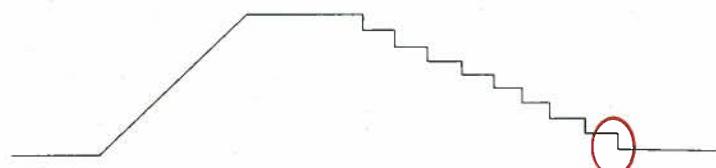
■変状状況図面



【 平 面 図 】

(堤内地)

(堤外地)



【 断 面 図 】

■変状状況写真



川表側の階段に段差がある

現場記入用 様式

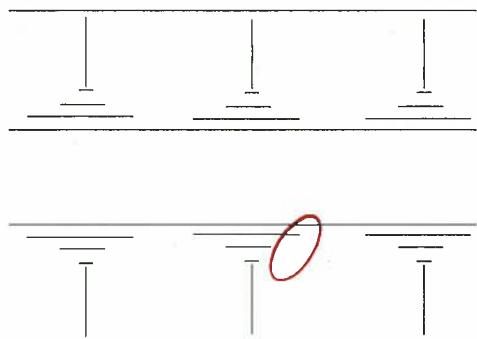
水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	金子、柳沢、高野	点検年月日	平成26年 9月 4日(木)
岸別	左・右岸	地先名	下妻市・郡		町	村	桐ヶ瀬地先
場所	34.6 km	構造物(橋)			から上・下流		m

■ 点検箇所 : 堤内地(裏のり面)・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

【堤外側】



横断方向

【堤外側】

【堤内側】

【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点 検 事 項

出水期前

- ・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・雨水排水上の問題となっているような、表小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。
- ・表法面・表小段に不陸はないか。
- ・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。
- ・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。
- ・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。
- ・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、浸食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・天端肩部が侵食されているところはないか。
- ・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。
- ・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。
- ・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。
- ・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。
- ・しぶり水でいつも浸潤状態の所はないか。
- ・法尻付近の漏水、噴砂はないか。
- ・樹木の貢入、拡大は生じていないか。
- ・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)
- ・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。
- ・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。
- ・堤脚水路の縫目からの漏水、噴砂がないか。
- ・堤脚水路の閉塞がないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。
- ・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。
- ・函体の撓み、折れ曲がりや、縦手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。
- ・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。

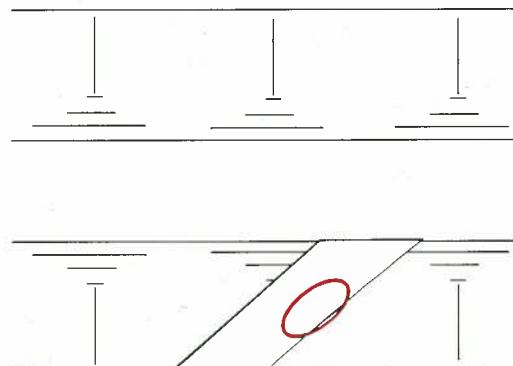
変状に関するコメント

堤内地へ向かう坂路の路肩が傷んでいる

整理番号	①-4
------	-----

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	関東地方整備局			
場 所	キロ	34.6km	左右岸	左 岸	地先名	下妻 市	町 桐ヶ瀬 地先
点検箇所				裏法面の坂路			

■変状状況図面



【 平 面 図 】

(堤内地)

(堤外地)



【 断 面 図 】

■変状状況写真



坂路の路肩が傷んでいる



拡大写真

現場記入用 様式

水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	清宮	点検年月日	平成26年 9月11日(木)
岸別	左・右岸	地先名	筑西市・郡		町	村	下川島地先
場所	45.05~45.15 km	[構造物(橋)])から上・下流	m	

■ 点検箇所 : 堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

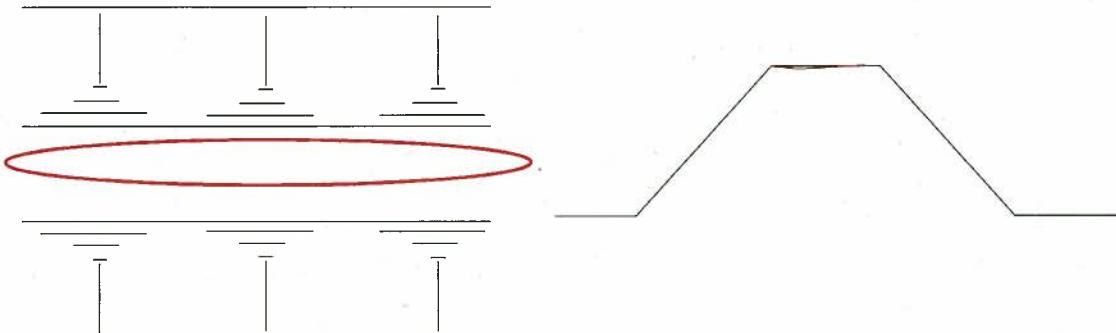
平面方向

横断方向

【堤外側】

【堤外側】

【堤内側】



【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点検事項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているよう、表小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘・浸食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・天端肩部が侵食されているところはないか。	↙
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているよう、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘・浸食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しづり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貢入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の維目からの漏水、噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、維手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

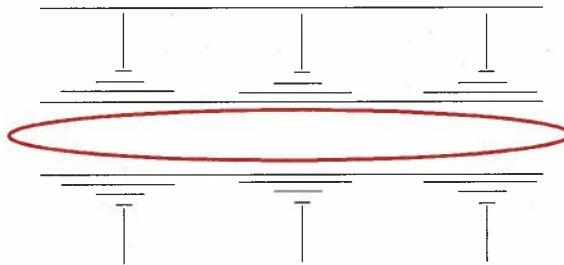
舗装部に亀裂が生じている

整理番号	②-1
------	-----

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	関東地方整備局			
場 所	キロ	45.05km～45.15km	左右岸	右 岸	地先名	第西 市	町 下川島 地先
点検箇所				堤防天端			

■変状状況図面

延長 約100mにわたり舗装部に亀裂が生じている



【 平 面 図 】

(堤内地)

(堤外地)



【 断 面 図 】

■変状状況写真



舗装が傷んでいる



舗装が傷んでいる

現場記入用 様式

水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	竹内	点検年月日	平成26年10月1日(水)
岸別	左・右岸	地先名	小山市・郡		町	村	延山新田地先
場所	52.9 km	[構造物(橋)])から上・下流		m]

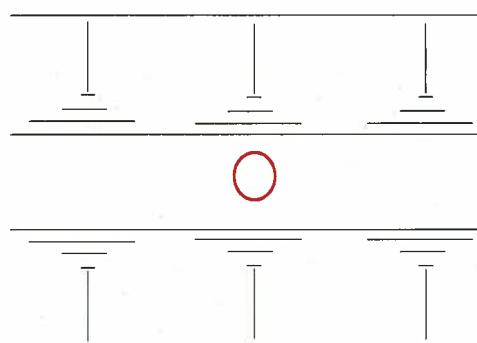
■ 点検箇所 : 堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

横断方向

【堤外側】



【堤外側】

【堤内側】



【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点検事項	出水期前
・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているよう、表小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
・堤防縁岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	✓
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているよう、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぶり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の総目からの漏水、噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水、噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、維手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

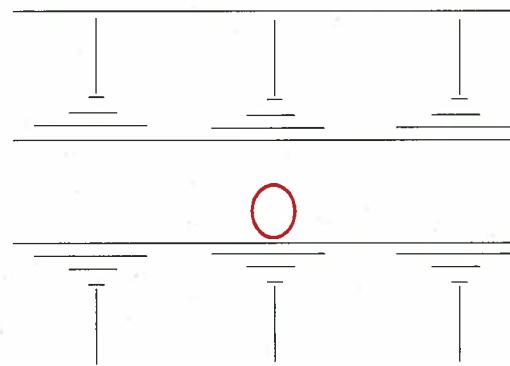
ポットホール(L=300)

整理番号	④-1
------	-----

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	関東地方整備局			
場 所	キロ	52.9km	左右岸	右 岸	地先名	小山 市	町 延島新田 地先
点検箇所	堤防天端						

■変状状況図面

幅 30cmのポットホールがある



【 平 面 図 】

(堤内地)

(堤外地)



【 断 面 図 】

■変状状況写真



ポットホールがある

現場記入用 様式

水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	竹内	点検年月日	平成26年10月1日(水)
岸別	左・右岸	地先名	真岡市・郡		町	村	谷貝新田 地先
場所	57.1 km [構造物(橋)])から上・下流	m]		

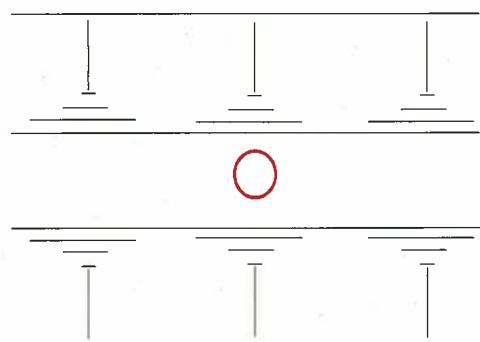
■ 点検箇所 : 堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

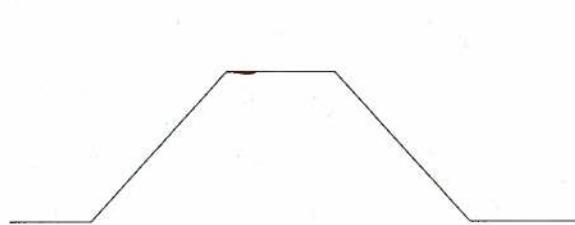
横断方向

【堤外側】



【堤外側】

【堤内側】



【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点 検 事 項

出水期前

- ・表法面・表小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、漫食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・雨水排水上の問題となっているよう、表小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。
- ・表法面・表小段に不陸はないか。
- ・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。
- ・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、漫食がないか。
- ・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。
- ・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・水制工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)
- ・天端肩部が侵食されているところはないか。
- ・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、漫食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)
- ・雨水排水上の問題となっているよう、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。
- ・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。
- ・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、漫食がないか。
- ・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。
- ・しほり水でいつも浸潤状態の所はないか。
- ・法尻付近の漏水、噴砂はないか。
- ・樹木の貫入、拡大は生じていないか。
- ・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)
- ・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。
- ・ドレン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。
- ・堤脚水路の縫目からの漏水、噴砂がないか。
- ・堤脚水路の閉塞がないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水、噴砂等の吸出しの痕跡はないか。
- ・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。
- ・函体の攢み、折れ曲がりや、縫手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。
- ・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。
- ・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。

変状に関するコメント

ポットホール(L=500)

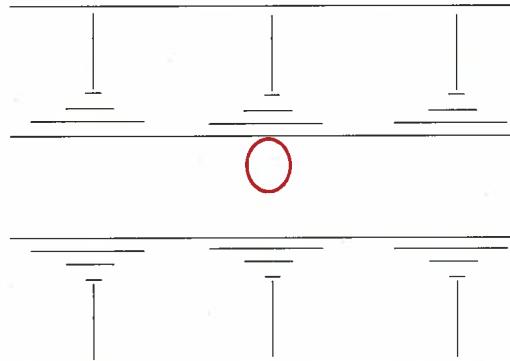
整理番号	④-2
------	-----

様式-2

水系名	利根川	川	河川名	鬼怒川	関東地方整備局		
場所	キロ	57.1km	左右岸	右 岸	地先名	真岡 市	町 谷貝新田 地先
点検箇所				堤防天端			

■変状状況図面

幅 50cmのポットホールがある



【平面図】

(堤内地)

(堤外地)



【断面図】

■変状状況写真



ポットホールがある

現場記入用 様式

水系名	利根 川	河川名	鬼怒 川	点検者名	竹内	点検年月日	平成26年10月 1日(水)
岸別	左・右岸	地先名	真岡 市・郡		町	村	谷貝新田 地先
場所	57.2 km	[構造物(橋))から上・下流		m]

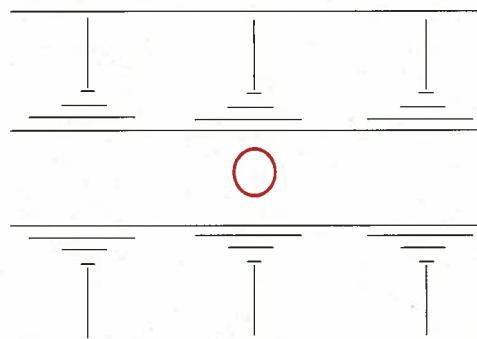
■ 点検箇所 : 堤内地・裏のり面・堤防天端・表のり面・堤外地

■ 状況図面

平面方向

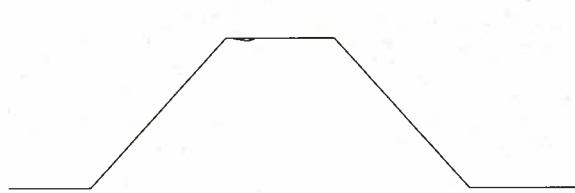
横断方向

【堤外側】



【堤外側】

【堤内側】



【堤内側】

出水期前の標準的な堤防(土堤)の点検事項

点 検 事 項	出水期前
・表法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、漫食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・表法面・表小段に不陸はないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、漫食がないか。	
・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
・浸透対策として表法面に被覆土が施されている箇所において、遮水シートの露出や破断はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・水削工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	✓
・天端肩部が侵食されているところはないか。	
・裏法面・裏小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、侵食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
・雨水排水上の問題となっているような、裏小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
・坂路・階段取り付け部の路面排水の集中に伴う洗掘、侵食がないか。	
・堤脚付近の排水不良に伴う浸潤状態はないか。	
・しぶり水でいつも浸潤状態の所はないか。	
・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
・樹木の貫入、拡大は生じていないか。	
・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
・局部的に湿性を好む植生種が群生していないか。	
・ドレン工の目詰まり、あるいは濁水の排水が生じていないか。	
・堤脚水路の縫目からの漏水、噴砂がないか。	
・堤脚水路の閉塞がないか。	
・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水・噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
・構造物の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
・函体の撓み、折れ曲がりや、縦手の開き、函体クラックの状態変化はないか。拡大していないか。	
・構造物上部の天端及び法面の堤体に空洞・陥没はないか。	
・構造物の接合部から吸出しの痕跡が生じていない。	

変状に関するコメント

ポットホール(L=400)

様式-2

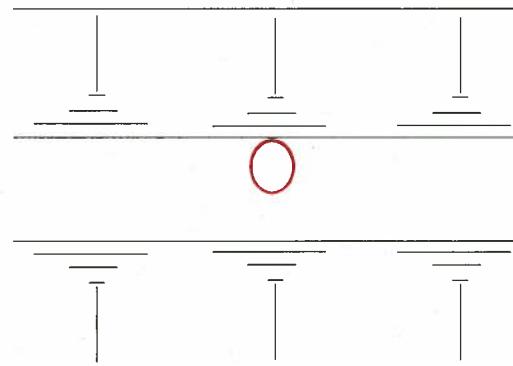
整理番号	④-2
------	-----

様式-2

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	関東地方整備局
場 所	キロ	57.2km	左右岸	右 岸
点検箇所			地先名	真岡 市 町 谷貝新田 地先 堤防天端

■変状状況図面

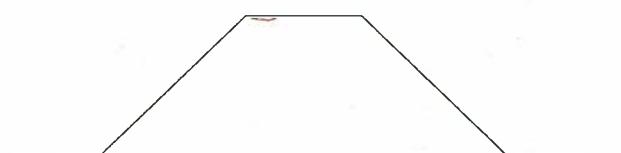
幅 40cmのポットホールがある



【 平 面 図 】

(堤内地)

(堤外地)



【 断 面 図 】

■変状状況写真



ポットホールがある

現場記入用 様式

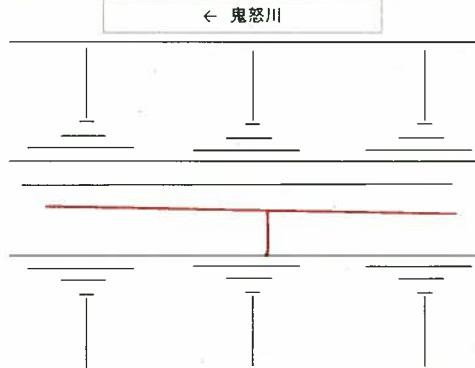
水系名	利根川	河川名	鬼怒川	点検者名	田口・小倉・岩下・鷹野・小沢	点検年月日	平成26年 9月 2日(火)
岸別	(左)・右岸	地先名	常総	市・郡	町	村	高野町 地先
場所	9.6 km	[構造物(橋)から上・下流]	m				

■ 点検箇所 : 堤内地・裏小段・裏のり面・堤防天端・表のり面・表小段・堤外地・堤脚水路

■ 状況図面

平面方向

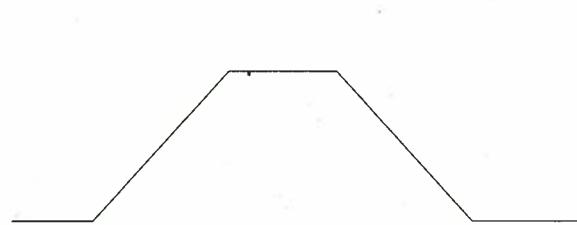
【堤外側】



横断方向

【堤内側】

【堤外側】



【堤内側】

台風期点検の標準的な堤防の点検事項

項目	箇所	点検事項	台風期
土堤	法面・堤防護岸・小段	・法面・小段の亀裂、陥没、はらみだし、法崩れ、寺勾配化、浸食等はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・張芝のはがれ等、堤防養生、表土の状態に異常はないか。(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・雨水排水上の問題となっているような、小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所がないか。	
		・法面・小段に不陸はないか。	
		・モグラ等の小動物の穴が集中することによって、堤体内に空洞を生じていないか。	
		・樹木の侵入、拡大は生じていないか。	
		・坂路・階段取付部の路面排水の集中に伴う洗掘、浸食がないか。	
		・堤防護岸に目地の開き、亀裂、破損等の変状はないか。	
	天端	・根固工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
		・水削工の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	
	裏法尻部	・浸透対策として表法面に被覆工が施されている箇所において、透水シートの露出や破断がないか。	
		・堤防天端及び法肩に亀裂、陥没、不陸、侵食等の変状はないか。(あるいは出水期よりも進行していないか。)	↙
		・天端肩部が侵食されているようなどろはないか(あるいは出水期前よりも進行していないか。)	
		・堤脚付近の排水不良に伴う漫潤状態はないか。	
		・しぶり水でいつも漫潤状態の所はないか。	
		・法尻付近の漏水、噴砂はないか。	
		・堤脚保護工の変形はないか。(あるいは出水期前よりも発達していないか。)	
		・局部的に湿性を好む植生種が発生していないか。	
		・ドレーン工の目詰まり、あるいは漏水の排水が生じていないか。	
		・堤脚水路の維目からの漏水、噴砂がないか。	
	堤脚水路	・堤脚水路の閉塞がないか。	
構門等構造物周辺	構造物上部の天端及び法面	・構造物上部の天端及び法面の抜け上がりや亀裂の状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
		・構造物上部の天端及び法面の堤体法尻部、小段部や堤脚水路より漏水、噴砂等の吸出しの痕跡はないか。	
		・構造物上部の天端及び堤体法尻部、小段部や堤脚水路の構造物上に陥没はないか。	
	構造物同士の接合部	・構造物各部の接合部の開きの状態に変化はないか。幅、段差が拡大していないか。	
	函体	・構造物各部の接合部から吸出しの痕跡が生じていないか。	
		・函体の撓み、折れ曲がりや、維手の開き、函体クラックの状態に変化はないか。拡大していないか。	

変状に関するコメント

天端舗装に亀裂がある

整理番号 錦-1

様式-2

水系名	利根川 川	河川名	鬼怒 川	錦庭出張所
場 所	キロ	9.6 Km	左右岸	左 岸
点検箇所			地先名	常総市 市 高野 町 地先

■変状状況図面



【平面図】

(堤内地)

(堤外地)

【断面図】

■変状状況写真



全景 亀裂の延長約20m



亀裂の幅約3cm



亀裂の深さ約20cm以上